

後発医薬品の使用体制について

後発医薬品（ジェネリック医薬品）とは、先発医薬品（新薬）の特許が切れた後に製造販売される、新薬と同一の有効成分を含み、効能・効果が同等な医薬品のことです。

国の厳しい審査をクリア

ジェネリック医薬品は、国の厳しい審査をクリアしたものが承認されています。有効性や安全性、品質も新薬と同等です。

低価格で個人負担軽減

新薬と同じ有効成分を使用し、開発費用が抑えられるので、低価格です。医療の質を落とすことなく、経済的負担が軽くなります。

医療費を有効活用

ジェネリック医薬品の使用で、日本全体の医療費の効率化が可能です。その医療費は新技術や新薬の導入に活用できます。

医療保険制度を次の世代に

少子高齢化が急速に進む中、現在の優れた医療保険制度を維持し、子供たちや次の世代に引き継いでいくことに貢献します。

自衛隊札幌病院では、後発医薬品を積極的に使用しています。

ジェネリック医薬品を希望されない場合は、医師・薬剤師にご相談ください。

後発医薬品の使用体制について

当院は後発医薬品使用体制加算に係る届出を行っている保険医療機関です。

当院では、後発医薬品の使用促進を図るとともに、医薬品の安定供給に向けた取り組みなどを実施しています。

★地域支援・医薬品供給対応体制加算…入院初日に限り入院基本料等に加算

現在、一部の医薬品について**十分な供給が難しい状況**が続いています。

当院では、医薬品の供給不足等が発生した場合に、医薬品の処方や治療計画等の見直しを行うなど、適切な対応ができる体制をとっています。

なお、状況によっては**投与する薬剤が変更**となる可能性があります。変更する場合には、患者さまへ説明をいたします。

ご不明な点やご心配なことがあれば、当院職員までご相談ください。